

[ベノミル・TPN水和剤]

農林水産省登録 第21818号  
 性 状：類白色水和性粉末 63 $\mu$ m以下  
 毒 性：普通物  
 危 険 物：—  
 有効年限：3 年  
 包 装：100g $\times$ 100、500g $\times$ 20

# STダコレート®水和剤

有効成分：ベノミル(PRTR・1種)……………20.0% TPN(PRTR・1種)……………50.0%

ダコレートは(株)エス・ディー・エス バイオテックと住友化学(株)の登録商標



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

## 〔適用と使用方法〕

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 (苗いもち)	400倍	育苗箱(30 $\times$ 60 $\times$ 3cm、使用土壌約5 $\ell$ )1箱 当り0.5 $\ell$	は種時	<b>本剤：1回</b> TPN：2回 ベノミル：#1	灌注
	苗立枯病 (リゾブス菌)	400~600倍	育苗箱(30 $\times$ 60 $\times$ 3cm、使用土壌約5 $\ell$ )1箱 当り1 $\ell$	は種時から 緑化期 但し、は種 14日後まで	<b>本剤：2回</b> TPN：2回 ベノミル：#1	
	苗立枯病 (トリコデルマ菌) 苗立枯病 (フザリウム菌)	800~1200倍				
もも	灰星病 ホモフシス腐敗病 果実赤点病 黒星病 枝折病 すすかび病	1000~1500倍	200~700 $\ell$	3日前	<b>本剤：3回</b> TPN：6回 ベノミル：3回	散布
	アスパラガス	1000倍	100~500 $\ell$	収穫 終了後	<b>本剤：4回</b> TPN：4回 ベノミル：#2	
たまねぎ	灰色かび病	800倍	100~300 $\ell$	7日前	<b>本剤：6回</b> TPN：6回 ベノミル：#3	
レタス	べと病 灰色かび病	1500倍		14日前	<b>本剤：3回</b> TPN：#4 ベノミル：#2	
キャベツ	根朽病 菌核病	1000倍		7日前	<b>本剤：2回</b> TPN：#5 ベノミル：#6	
はくさい	黒斑病			<b>本剤：2回</b> TPN：#7 ベノミル：#8		

- #1：2回（種子への処理は1回、床土への混和は1回）
- #2：5回（種子粉衣は1回、は種後は4回）
- #3：8回（種子粉衣は1回、育苗培土混和、灌注または苗根部浸漬は合計1回、散布は6回）
- #4：5回（土壌灌注は2回、散布は3回）
- #5：3回（は種又は定植前の土壌混和は1回、散布及びエアゾル剤の噴射は合計2回）
- #6：7回（種子粉衣は1回、は種後は6回）
- #7：3回（は種又は定植前の土壌混和は1回、散布は2回）

#8：3回（種子粉衣は1回、は種後は2回）



## 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきる。
- 本剤の所定量に少量の水を加えて糊状にねり、のち所要量の水を加え十分かきまぜて散布液を調製し、調製後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布する。
- 稲に使用する場合、育苗箱から希釈液が漏出しないように注意する。
- 稲の緑化期に使用する場合、発病後の処理では効果が劣ることがあるので注意する。
- ボルドー液や石灰硫黄合剤などのアルカリ性薬剤との混用はさける。（分解）



## 安全使用上の注意



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
  - 誤飲、誤食などのないように注意する。  
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。  
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
  - 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受ける。
  - 本剤は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意する。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
  - 夏期高温時の使用をさける。
  - 使用の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。  
作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
  - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
  - かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
  - 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。
  - 移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
  - 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
  - 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
  - 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。
- 12 頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－F も合わせてお読み下さい。

## 〔品目特性〕

- 本剤は、保護殺菌剤TPN（ダコニール）と、予防・治療効果のある殺菌剤ベノミル（ベンレート）との混合剤です。